

2024 年度

学修成果及び学修行動、環境に関する調査（2024 年度在学学生）

アンケート調査報告

川崎医療福祉大学

FD・SD 委員会

本学の学生の学修前後の学修成果を把握し、本学の3つのポリシーを検証する材料とすることを目的として、2022 年度より毎年実施する記名式調査として「学修成果および学修行動、環境に関する調査」を開始した。

データの集計と基礎的分析については、教務課及び調査企画室で行った。

1. 実施方法

1-1 実施対象と方法

2024 年度の在学している学部生（以下、在学学生）は合計 3、637 名であった。

メールにて回答依頼を学生に対して行い、回答は Webclass を使用して、オンラインにて実施した。質問項目および簡易集計結果は巻末の資料 1 の通りである。

1-2 実施日

提出期限：2024 年 7 月 29 日（月）～8 月 20 日（火）

2. 実施結果

2-1 回収率

アンケートの回収率（回収数／配付数）は 38.6%（2023 年度：48.0%）であった。回答者の実数と学年構成は以下の通り。もともとの回収率が高くないことに加えて、今年度は、昨年度と比較してすべての学年で回収率が下がり、特に 4 年生の回答率が大幅に下がった。精度の高い分析をおこなうためにも、回収率を高める必要があると考える。

学年	2023年度調査	2024年度調査	対前年度比
1年生	599	493	82%
2年生	481	404	84%
3年生	369	298	81%
4年生	426	197	46%
合計	1875	1392	74%

2-2 学生の主観評価によるアドミッション・ポリシーの検証（質問 1）

アドミッション・ポリシーについて、入学時においては、本学への入学選抜に臨むに

あたったの人物像を、入学後については、本学での学びに対する基本姿勢として持つ必要があるものであり、いずれの設問においてレベル 4 もしくは 5 であることが望まれる項目である。実際の回答もレベル 4 と 5 での回答を占めているが、ごく少数の学生は低いレベルで回答している。アドミッション・ポリシーに関する設問に全てレベル 1 で回答した学生が昨年は存在しなかったが、今年度は 3 名存在した。学生のアドミッション・ポリシーへの理解と医療福祉人への意識付けを今以上に強化していく必要がある。

ほとんどのアドミッション・ポリシーは、レベル 5 の解答が一番多くなっているが、唯一、「他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人」については、昨年と同様、レベルを 4 と回答した学生が最も多くなっており、他者とのコミュニケーション、協業に若干の不安を持っている学生が存在することが示された。アクティブラーニング科目やチーム医療に関する科目、プレゼンテーションに関する科目など、コミュニケーション能力およびチーム医療に関する科目をより一層強化する必要性が示唆された。

学年別の傾向を別表 1 に示す。学年による傾向の差は見受けられなかった。

2-3 学生の主観評価によるカリキュラム・ポリシーの検証（質問 2、3、5）

自分の所属学科のカリキュラム（科目や科目の配置、科目の量）への満足度を確認したところ、満足が 41%、やや満足が 42%と合せて 83%であり、昨年度と同様、概ね満足している状況が確認された。カリキュラムへの要望事項は、昨年度と同様、資格対策の充実と、ボランティア活動などの正課外活動への単位認定への要望が多く見受けられた。

科目の配置については、1 週間当たり 21～30 時間（1 日当たり概ね 3～4 コマ）の授業がある学生が 46%と最も多くなっていた。これは令和 4 年度に文部科学省が実施した「全国学生調査」※において、2 年生の最多回答であった「1 週間当たり 16～20 時間（1 日あたり概ね 2～3 コマ）」と比較すると、多くの科目が配置されていたが、同調査における学部分野別の解答における保健分野（看護・医療技術など）においては 1 週間当たり 21～30 時間（1 日当たり概ね 3～4 コマ）が最多になっていたもので、この分野においては標準的な科目配置であると考えられる。

2-4 学生の主観評価によるディプロマ・ポリシーの検証（質問 4、6、7、8）

最も高かった項目が「4. 出された課題やレポートを、良いものに仕上げようと努力している」55%であった。次に「2. 興味がわくかどうかにかかわらず、集中して受講している」41%、「7. 授業でわからなかったことは、自分で調べてみる」40%と続いており、与えられた学びについては一生懸命に取り組み様子が示唆された。一方、「5. 予習をしたうえで毎回の授業に臨んでいる」が 8%、「授業に関係する事柄を、授業時間外でも教

員に質問する」10%、「授業で興味を持ったことについて自主的に勉強する」21%などの低い割合で示されるように、学生の学修姿勢が受け身になっている傾向が見受けられた。後述の質問6と同様、課題とすべきであろう。

質問6では授業以外での自己学修時間を問うた質問であるが、時間数としては最も少ない選択肢である1週間当たり1～5時間の学生が34%と最多となった。「全国学生調査」※において、全体でも学部分野別でも同様に1週間当たり1～5時間の学生が最も多くを占めており、他大学においても同様の課題が存在するものと考えられる。

質問7では、68%の学生が毎週16時間以上の自身が自由に使える時間があり、今以上の自己学修時間の確保は可能と考えられる。単位制度の実質化を図る上でも学生の自己学修時間増加に向けて更なる大学内学修環境の整備や、予習・復習教材の指示、提供等の改善に向けた施策が必要である。

質問8では、ディプロマ・ポリシーに定められた養成人材像に対する現時点での自身の達成状況について5段階で自己評価させた。全てのディプロマ・ポリシーについて、レベル4と回答した学生が最も多い状況ではあるが、元来ディプロマ・ポリシーは卒業時に充足を目指すものであり、正しい傾向といえる。

学年別の傾向を別表1に示すが、学年による傾向の差は見受けられない。しかし、前述のディプロマ・ポリシーの性質から考えると、3・4年生でレベル4と5が増えることが望ましく、学修ポートフォリオシステムおよびディプロマ・サプレメントの活用を啓発し、成長実感を持たせるなど、学生の主体性向上に向けた取り組みの必要性が示唆された。

2-5 学生からの環境整備への要望事項（質問9、10、11）

質問9では、学生が自己学修する場所を確認した。自宅での自己学修を中心としながらも、大学図書館や各階ラウンジなどの大学内施設の利用が多く見受けられた。また、質問10および11の施設整備の要望では、静かに学修できるスペースの更なる拡充を望む声が多数となった。本学には、静かに学修できるスペースである5FLSC（ラーニングサポートセンター）や8F資格対策演習室があり、席数にも余裕があるのだが、質問9で示されたように実際に使う学生が少ない。これらのスペースの案内を十分に行うことの重要性が示されたと同時に、利便性の高い場所での学修スペースの確保の必要性が示唆された。

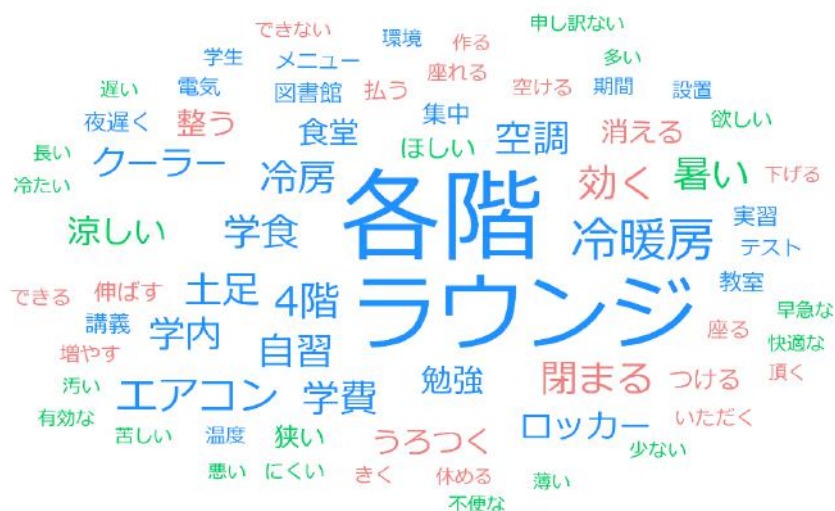
また、施設整備の要望では、Wi-Fi環境の充実、コーヒーショップ等のカフェスペースの設置、学生ラウンジ等のフリースペースの拡充が昨年同様、根強い要望として挙げられている。

自由記述の記載では空調に関する要望が多く見受けられ、多くの学生が不満を持っていることが分かる。4Fラウンジ・各階ラウンジや、個々の教室の室温調整が十分ではないなど、温度や稼働時間に関して改善を求める声が多く挙げられた。学生の不満が最

も多い内容であることを認識しておかなくてはならない。近年の気温の上昇等も踏まえ、現行の設備で実現可能な対策を検討していく必要があると考えられる。

他には、食堂のメニューの充実や料金の見直し、構内店舗の営業時間についての意見等が挙げられた。

自由記述をワードクラウド化し、要望の度合いを可視化すると以下ようになった。



3. まとめ

今年度も本調査を通じて、本学の3つのポリシーに関する教学のPDCAサイクルを回すための貴重なデータを収集することができた。特に、大学教育の受益者である学生の主観的な視点から、3つのポリシーに対する認識や達成度を定量的に把握する機会を定期的に設けられたことは、本学の教育活動の改善に大きく貢献すると考えられる。

今年度の調査でも、学生は与えられた学びに対して真剣に取り組んでいるものの、学修への主体的な姿勢が十分ではない点が強調された。またチーム医療に必要なコミュニケーション能力に課題を感じる学生も一定数いることが示された。学生の特性や時代の変化に応じて、自主性を伸ばし、成長を実感できるように学びの質を適切に向上させる必要がある。

シラバスの内容整理や教員の意識改革により、教学の改善は順調に進んでいると考えられるが、チーム医療の実現を目指した医療福祉人としての能力を養う科目の充実や、単位制度の実質化に向けた更なる取り組みが必要である。さらに、空調や自習スペースなど、快適で自主的な学びを促進する環境や施設の拡充も重要な課題になっている。

※ 文部科学省 令和4年度「全国学生調査（第3回試行実施）」の結果について
2024/8/22 参照

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/chousa/1421136.htm

※全国の大学学部2年生と4年生を対象にした調査

アドミッションポリシー

ポリシー	レベル※	1年生	2年生	3年生	4年生	総計
AP1.医療や福祉の分野で活躍するために、その知識と技術を修得する意欲のある人	1	3	4	1	4	12
	2	5	13	8	6	32
	3	61	51	35	21	168
	4	157	136	101	71	465
	5	267	200	153	95	715
AP2.病気や障がいのある人の気持ちを理解するとともに、その苦悩に共感できる人	1	3	1	3	3	10
	2	2	6	5	3	16
	3	61	45	40	21	167
	4	151	162	96	63	472
	5	276	190	154	107	727
AP3.社会人としての良識や倫理観を身につけ、社会に貢献したいと願っている人	1	2	1	1	2	6
	2	3	10	6	1	20
	3	57	52	37	21	167
	4	152	140	93	70	455
	5	279	201	161	103	744
AP4.他者の言葉に耳を傾け、適切に説明できるといふコミュニケーション能力を持つために努力する人	1	2	1	1	2	6
	2	6	7	4	3	20
	3	67	53	31	18	169
	4	156	138	95	65	454
	5	262	205	167	109	743
AP5.他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人	1	2	3	1	3	9
	2	24	20	11	6	61
	3	100	75	57	34	266
	4	181	174	109	79	543
	5	186	132	120	75	513

ディプロマポリシー

ポリシー	レベル※	1年生	2年生	3年生	4年生	総計
DP1.幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。	1	5	8	2	3	18
	2	33	29	18	9	89
	3	172	137	85	43	437
	4	197	162	119	92	570
	5	86	68	74	50	278
DP2.豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。	1	6	8	1	2	17
	2	24	28	16	9	77
	3	163	125	86	40	414
	4	200	171	114	100	585
	5	100	72	81	46	299
DP3.医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。	1	4	6	3	3	16
	2	39	37	15	11	102
	3	177	136	95	45	453
	4	176	150	104	97	527
	5	97	75	81	41	294
DP4.4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。	1	16	7	1	4	28
	2	49	49	21	10	129
	3	179	142	91	51	463
	4	156	142	109	85	492
	5	93	64	76	47	280

※レベル1が最もネガティブで、レベル5が最もポジティブな自己評価を示している。

資料1

令和6年度 学修成果及び学修行動、環境に関する調査_結果

2024.9.2

実施期間：2024年7月29日（月）～8月20日（火）

対象者数：3,637人

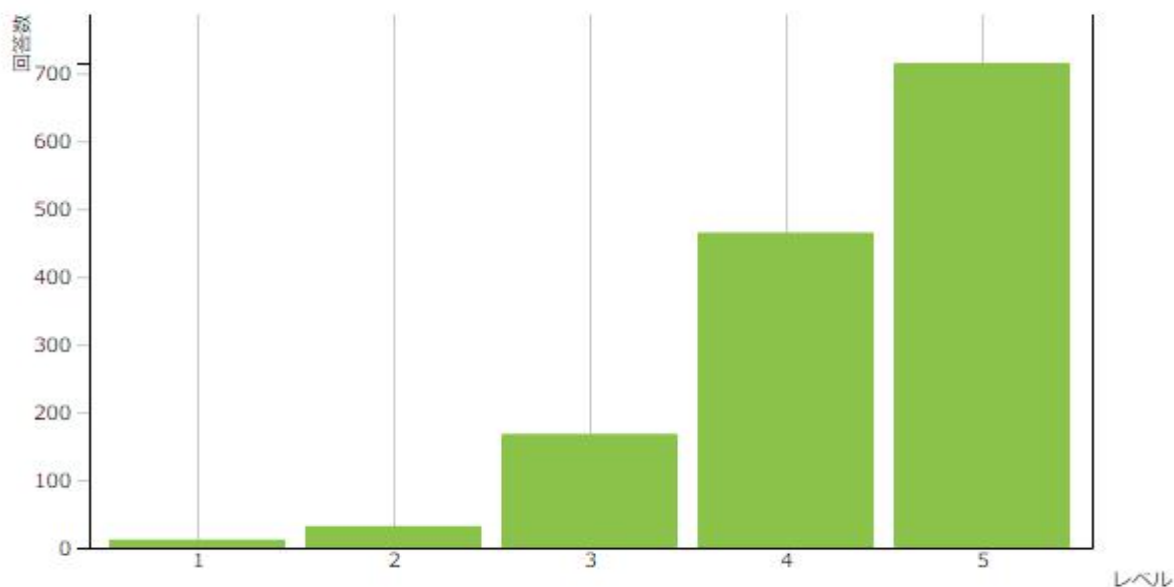
回答者数：1,392人（1年次493人、2年次404人、3年次298人、4年次197人）

回答率：38.6%（1年次35.4%、2年次29.0%、3年次21.4%、4年次14.2%）

① 医療や福祉の分野で活躍するために、その知識と技術を修得する意欲のある人

高 意欲がある

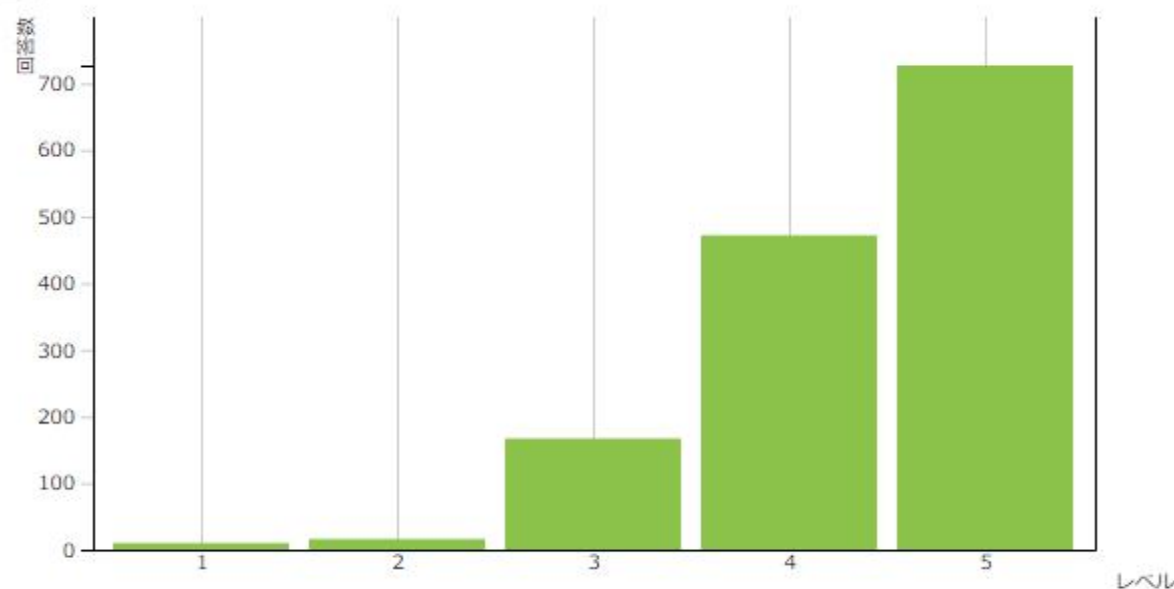
低 意欲がない



② 病気や障がいのある人の気持ちを理解するとともに、その苦悩に共感できる人

高 共感できる

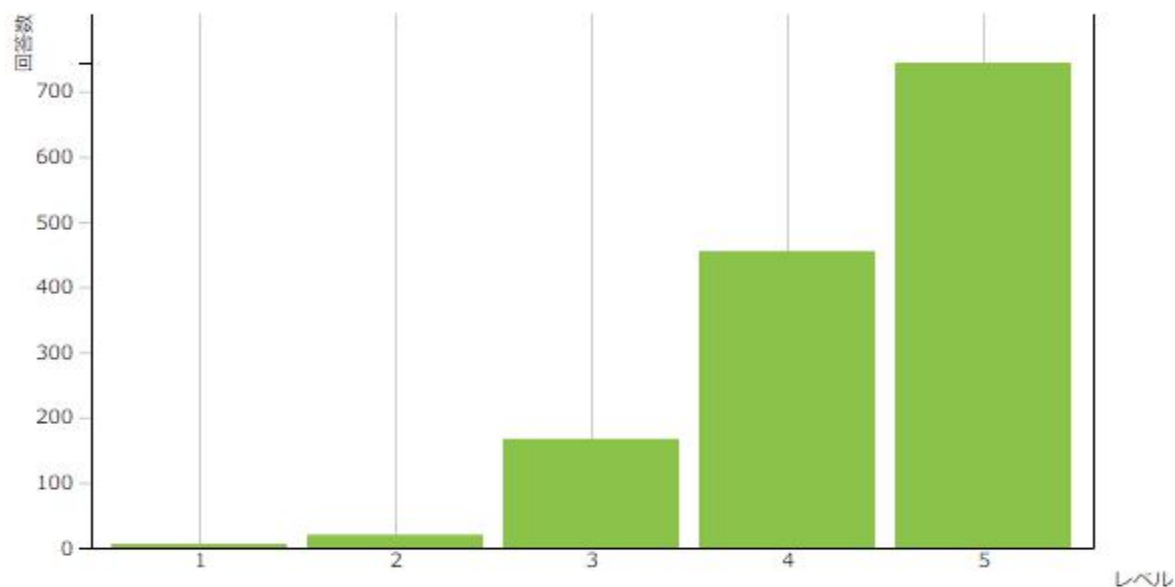
低 共感できない



③ 社会人としての良識や倫理観を身につけ、社会に貢献したいと願っている人

高 貢献したいと思う

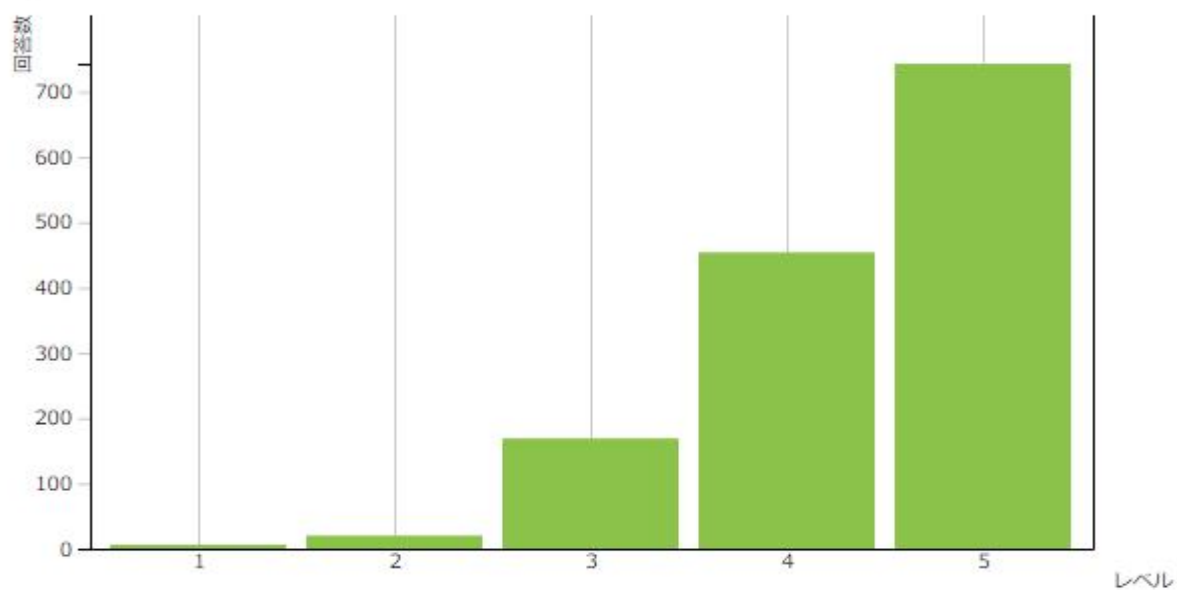
低 貢献したいと思えない



④ 他者の言葉に耳を傾け、適切に説明できるというコミュニケーション能力を持つために努力する人

高 努力している

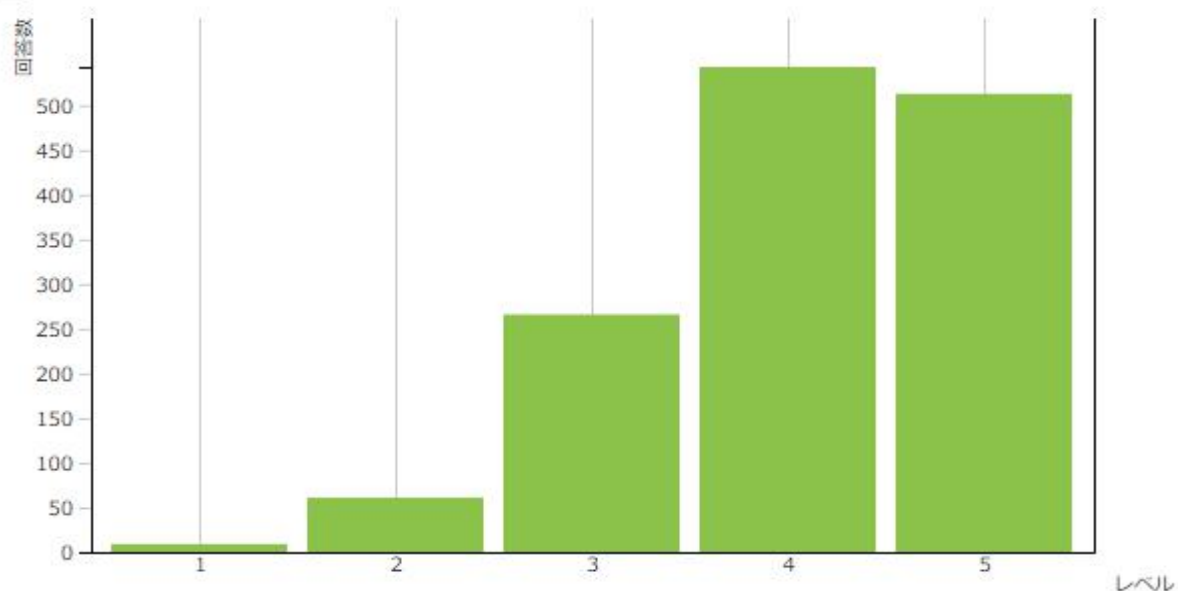
低 努力していない



⑤ 他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人

高 能力を備えている

低 能力を備えていない



質問 2. 自分の所属学科のカリキュラム（科目や科目の配置、科目の量）に満足していますか。

1. 満足	565	41%
2. やや満足	571	42%
3. どちらでもない	181	14%
4. やや不満	53	4%
5. 不満	22	2%

質問 3. カリキュラムに対して要望はありますか。あてはまるものすべてを選択してください。

1. 基礎教育科目へのSTEAM科目（科学／技術／工学／芸術／数学）の充実	197	15%
2. ICT・AI・数理・データサイエンス科目の充実	84	7%
3. 基礎教育科目への語学教育科目の充実	133	10%
4. 短期留学を含む国際交流科目の充実	152	11%
5. キャリア教育科目の充実	139	10%
6. 能動的学修授業（アクティブラーニング）の充実	96	7%
7. 学外活動（ボランティア等）単位認定	331	24%
8. インターンシップの単位認定、科目設定	121	9%
9. 資格試験対策の充実	552	40%
10. リメディアル教育（不足している基礎学力を補うために行われる教育）の充実	205	15%

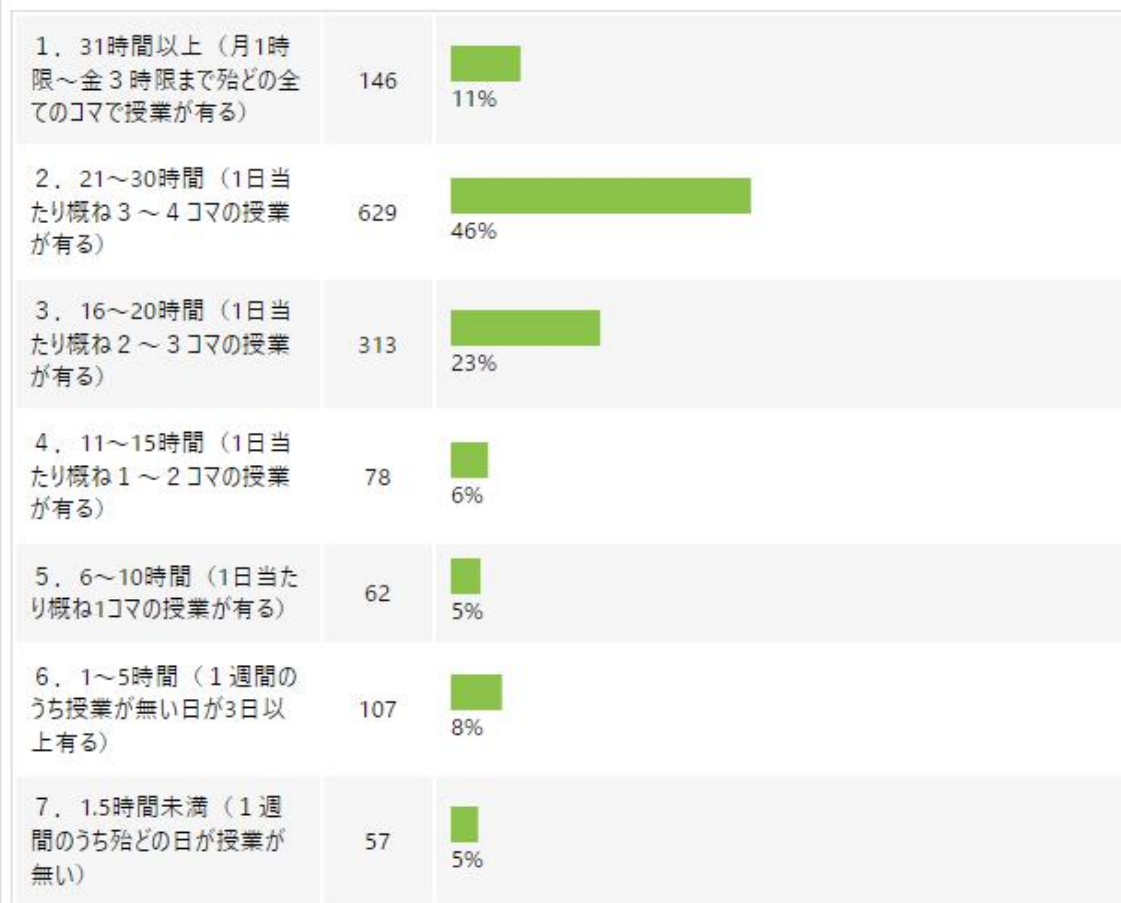
質問 4. 授業に対して、どのような態度で取り組んでいますか。あてはまるものすべてを選択してください。

1. 受講の際に、前もってシラバスを確認している	451	33%
2. 興味がわくかどうかにかかわらず、集中して受講している	564	41%
3. グループワークやディスカッションなど自分の意見を述べる機会がある場合は、積極的に発言している	370	27%
4. 出された課題やレポートを、良いものに仕上げようと努力している	763	55%
5. 予習をしたうえで毎回の授業に臨んでいる	101	8%
6. 授業が終わったらそのつど復習している	213	16%
7. 授業でわからなかったことは、自分で調べてみる	546	40%
8. 授業で興味をもったことについて、自主的に勉強する	281	21%
9. 授業に関係する事柄を、授業時間外でも教員に質問する	136	10%
10. 上記にあてはまるものはない	67	5%

※昨年度は単一選択となっていたため、昨年度と傾向が異なっている。

質問 5. 授業の受講時間※は、1週間（7日間）でどれくらいですか。

※単位化された全ての授業。講義、演習、実験、卒業研究、実習、学外実習等の正課授業。



質問 6. 授業時間以外でのふだんの自己学修時間は、1週間（7日間）でどれくらいですか。
（定期試験用の自己学修ではなく、ふだんの自己学修についてお答えください。）



質問 7. 睡眠時間以外で自分がアルバイト・部活・趣味・休養等に自由に使うことができる時間は、1週間（7日間）でどれくらいですか。

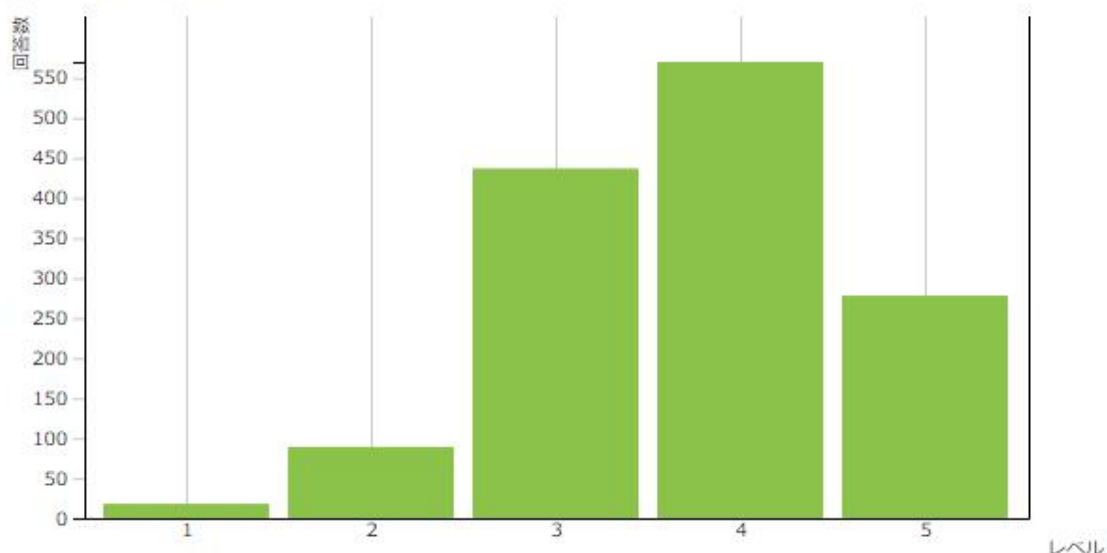
1. 31時間以上（毎日概ね4.4時間以上を自由に使うことができる）	312	23%
2. 21～30時間（毎日概ね3～4.3時間未満を自由に使うことができる）	327	24%
3. 16～20時間（毎日概ね2.3～2.9時間未満を自由に使うことができる）	279	21%
4. 11～15時間（毎日概ね1.6～2.2時間未満を自由に使うことができる）	224	17%
5. 6～10時間（毎日概ね50分～1.5時間未満を自由に使うことができる）	148	11%
6. 1～5時間（毎日概ね10分～45分未満を自由に使うことができる）	90	7%
7. 0時間（全く自由な時間が無い）	12	1%

質問 8. 大学が養成しようとする人材像（ディプロマポリシー）は以下のとおりですが、現時点での自身の達成状況について5段階で自己評価してください。

① 幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。

高 達成できている

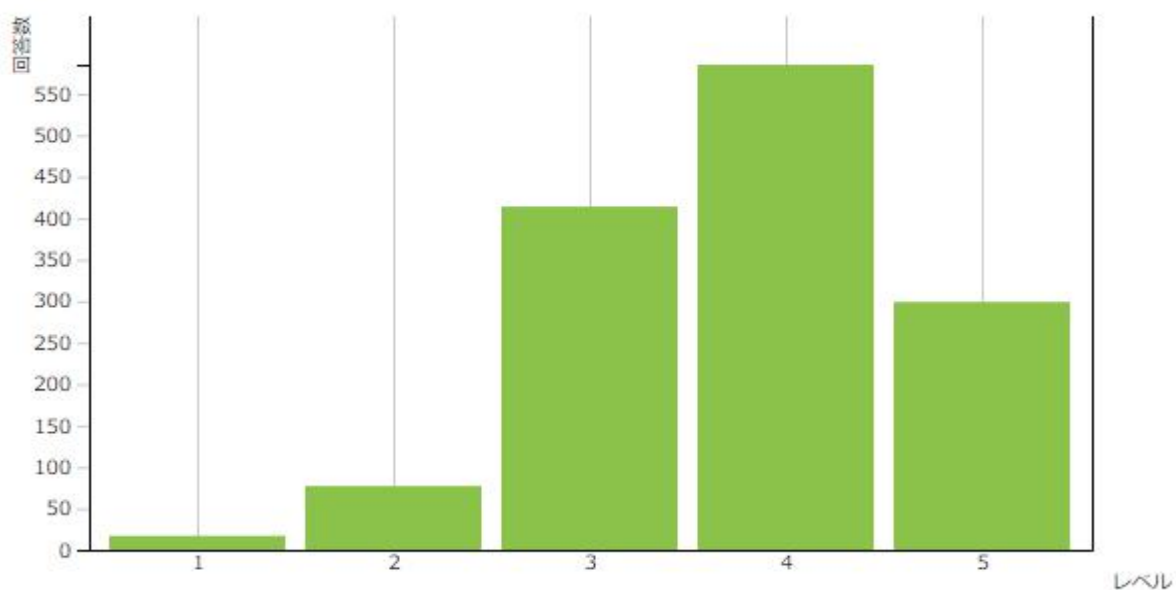
低 達成できていない



② 豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。

高 達成できている

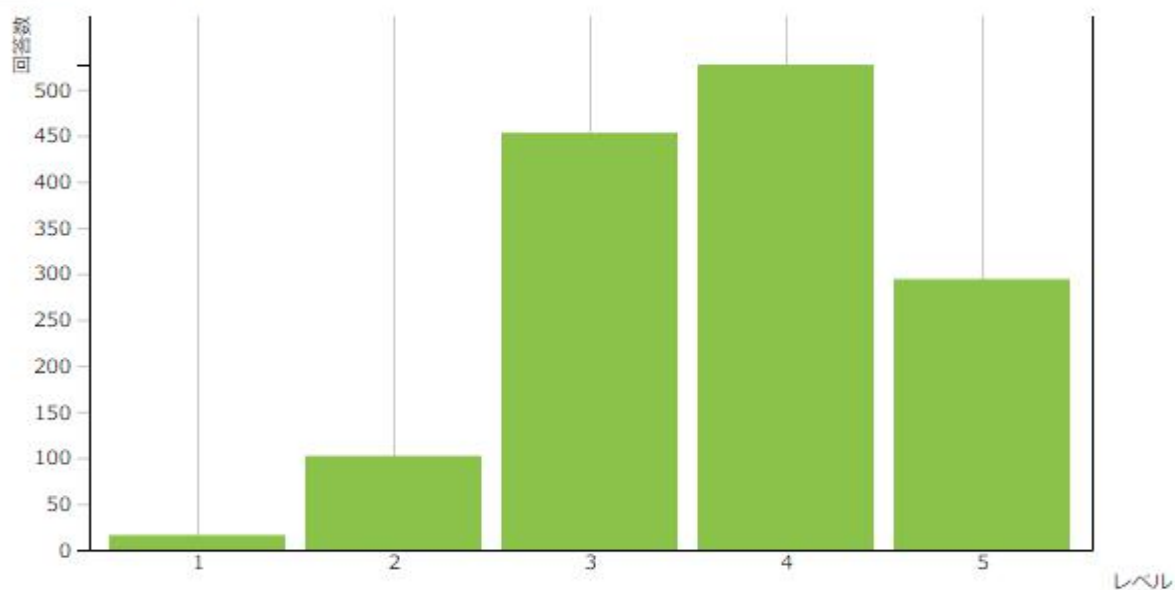
低 達成できていない



③ 医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。

高 達成できている

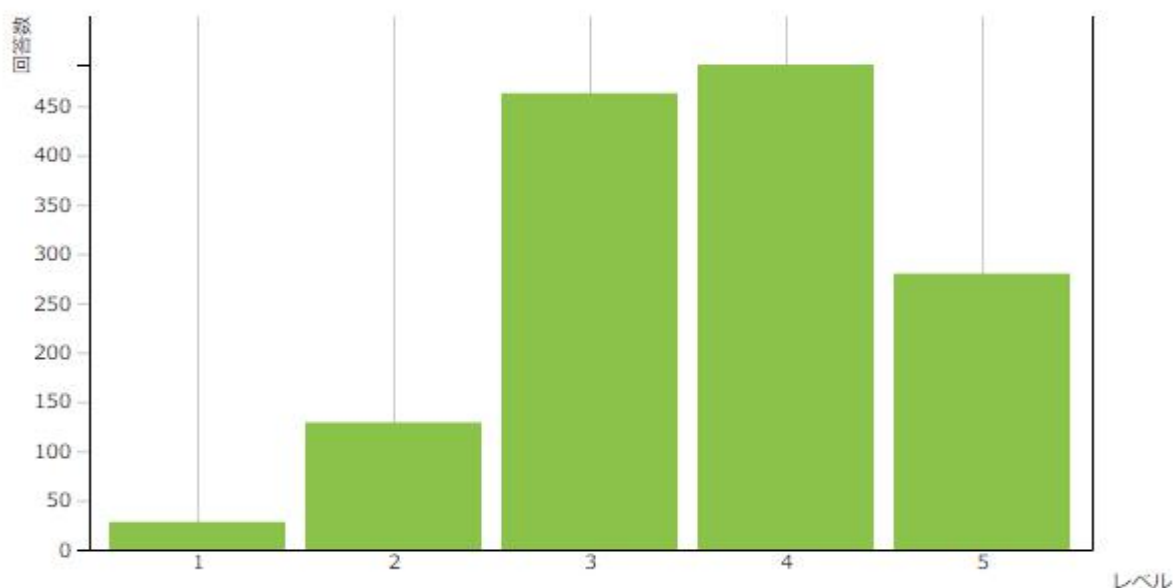
低 達成できていない



④ 4年間にわたる体系的な学修を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。

高 達成できている

低 達成できていない



質問9. 授業時間以外での自己学修は、どこでしますか。該当する場所すべてを選択してください。

1. 自宅	1235	89%
2. 大学図書館	602	44%
3. 各階ラウンジ	630	46%
4. 5 F L S C (ラーニングサポートセンター)	179	13%
5. 8 F 資格対策演習室 (8101~8104)	29	3%
6. 学科教員が準備した自習用の講義室・実習室	135	10%
7. その他 (友人宅・公共施設など)	229	17%
8. 授業時間以外の勉強はしていない	17	2%

質問 10. 大学の学修環境もしくは学生生活環境整備への要望はありますか。あてはまるものすべてを選択してください。（2022-2023年度環境整備実績：8F資格対策演習室の新設、2F・4Fラウンジへの充電スペースの設置）

1. 静かに学修できるスペースの更なる拡充	726	53%
2. 現在よりも遅い時間まで自習で使用することができるスペースの整備	458	33%
3. グループワークを可能とする設備（プロジェクター、ホワイトボード、移動可能机等）を備えた自習スペースの設置	117	9%
4. 学生ラウンジ等のフリースペースの拡充	472	34%
5. コーヒーショップ等のカフェスペースの設置	479	35%
6. 電子機器の充電スペースの更なる拡充	368	27%
7. パソコンやプリンターなどが自由に利用できるスペースの拡充	397	29%
8. 学生による展示スペースの設置	25	2%
9. Wi-Fi環境の充実（接続の簡易化、高速化等）	623	45%
10. 食事スペースの拡充（食堂の増席、店舗の新設）	308	23%
11. 店舗の平日営業時間の延長	201	15%
12. クラブ・サークル活動のための環境整備	87	7%
13. その他	71	6%

実施期間：2024年7月29日（月）～8月20日（火） ※未回答者への督促計3回

学科	年次	対象者	回答者	回答率	学科	年次	対象者	回答者	回答率
福) 福祉) 医療福祉学科	1年次	40	17	42.5%	福) 技術) 診療放射線技術学科	1年次	78	54	69.2%
	2年次	44	22	50.0%		2年次	78	42	53.8%
	3年次	54	8	14.8%		3年次	69	30	43.5%
	4年次	81	10	12.3%		4年次	82	33	40.2%
		219	57	26.0%			307	159	51.8%
福) 福祉) 臨床心理学科	1年次	56	27	48.2%	福) 技術) 臨床工学科	1年次	47	41	87.2%
	2年次	53	13	24.5%		2年次	53	29	54.7%
	3年次	60	16	26.7%		3年次	64	32	50.0%
	4年次	88	19	21.6%		4年次	86	19	22.1%
		257	75	29.2%			250	121	48.4%
福) 福祉) 子ども医療福祉学科	1年次	37	26	70.3%	福) 技術) 臨床栄養学科	1年次	29	7	24.1%
	2年次	38	13	34.2%		2年次	33	16	48.5%
	3年次	45	23	51.1%		3年次	34	7	20.6%
	4年次	67	4	6.0%		4年次	39	12	30.8%
		187	66	35.3%			135	42	31.1%
福) 看護) 保健看護学科	1年次	155	104	67.1%	福) 技術) 健康体育学科	1年次	60	16	26.7%
	2年次	136	69	50.7%		2年次	77	13	16.9%
	3年次	119	51	42.9%		3年次	86	21	24.4%
	4年次	127	17	13.4%		4年次	56	2	3.6%
		537	241	44.9%			279	52	18.6%
福) リハ) 理学療法学科	1年次	73	41	56.2%	福) マネ) 医療福祉経営学科	1年次	5	3	60.0%
	2年次	66	32	48.5%		2年次	17	2	11.8%
	3年次	79	18	22.8%		3年次	10	4	40.0%
	4年次	73	6	8.2%		4年次	31	4	12.9%
		291	97	33.3%			63	13	20.6%
福) リハ) 作業療法学科	1年次	46	28	60.9%	福) マネ) 医療情報学科	1年次	9	5	55.6%
	2年次	68	38	55.9%		2年次	19	10	52.6%
	3年次	69	13	18.8%		3年次	27	10	37.0%
	4年次	59	1	1.7%		4年次	33	16	48.5%
		242	80	33.1%			88	41	46.6%
福) リハ) 言語聴覚療法学科	1年次	53	40	75.5%	福) マネ) 医療秘書学科	1年次	15	8	53.3%
	2年次	58	39	67.2%		2年次	24	9	37.5%
	3年次	53	20	37.7%		3年次	18	6	33.3%
	4年次	57	9	15.8%		4年次	35	11	31.4%
		221	108	48.9%			92	34	37.0%
福) リハ) 視能療法学科	1年次	22	19	86.4%	福) マネ) 医療福祉デザイン学科	1年次	18	8	44.4%
	2年次	33	20	60.6%		2年次	16	3	18.8%
	3年次	28	6	21.4%		3年次	12	2	16.7%
	4年次	53	12	22.6%		4年次	15	4	26.7%
		136	57	41.9%			61	17	27.9%
福) 技術) 臨床検査学科	1年次	71	49	69.0%	合 計	1年次	814	493	60.6%
	2年次	68	36	52.9%		2年次	881	406	46.1%
	3年次	65	29	44.6%		3年次	892	296	33.2%
	4年次	68	18	26.5%		4年次	1,050	197	18.8%
		272	132	48.5%			3,637	1,392	38.3%
									昨年度
									67.2%
									52.1%
									37.5%
									38.5%
									48.0%